

令和3年度積算線量測定結果

調査地点: 佐世保港

ポイント 番号	測定結果(μ Gy / 91 日)			
	第1・四半期 (4月22日~7月20日)	第2・四半期 (7月20日~10月19日)	第3・四半期 (月日~月日)	第4・四半期 (月日~月日)
1	138 ± 1.2	131 ± 2.9	±	±
2	131 ± 0.6	139 ± 0.6	±	±
3	112 ± 0.6	115 ± 0.6	±	±
4	153 ± 0.6	159 ± 1.2	±	±
5	154 ± 1.6 ^{*1}	161 ± 1.2 ^{*4}	±	±
6	120 ± 1.0 ^{*1}	123 ± 1.6 ^{*4}	±	±
7	114 ± 1.2 ^{*2}	120 ± 1.0 ^{*5}	±	±
8	134 ± 0.6	138 ± 2.3 ^{*6}	±	±
9	119 ± 0.0	123 ± 1.2 ^{*6}	±	±
10	107 ± 1.2 ^{*3}	110 ± 0.6 ^{*6}	±	±
比較対照	46 ± 0.8 (4月16日~7月26日)	46 ± 0.7 (7月15日~10月27日)	± (月日~月日)	± (月日~月日)

* 1: 設置期間は4月22日~7月21日である。

* 2: 設置期間は4月23日~7月21日である。

* 3: 設置期間は4月23日~7月20日である。

* 4: 設置期間は7月21日~10月19日である。

* 5: 設置期間は7月21日~10月21日である。

* 6: 設置期間は7月20日~10月21日である。

注) 1ポイント当り蛍光ガラス線量計3個を四半期毎(約3ヶ月間)収納箱に設置し、積算線量を測定した。測定結果は各ポイントにおける測定値の平均値とし、誤差は標準偏差を示した。

比較対照は宇宙線及びセルフェーズの寄与分を見積もるために蛍光ガラス線量計6個を日本分析センターの鉛容器内に保管し、同様に積算線量を測定した。なお、各ポイントの測定結果から比較対照の測定結果を減じることとはしていない。